

# 顧客のニーズに合わせた 情報提供

— プログラミング入門

平成21年6月6日(土)

千葉商科大学 サービス創造学部 教授  
神保 雅人



# はじめに

- 対 象

このテキストは千葉商科大学(CUC)が高大連携教育として実施する『2009 楽問のススメ』のうち春学期に開講する第1回講座のためのものです。

- 商 標

このテキストに使われている名称のうち、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、JavaScriptはSun Microsystems, Inc.の米国その他の国における登録商標です。なお、<sup>TM</sup>等の表記は省略しています。

# Webによる情報発信

- インターネットとは

コンピュータを複数台接続したものをネットワークと呼びます。ネットワークの基本はLAN（ローカルエリアネットワーク）とあって、学校内や企業内の限られた範囲のものであります。

インターネットは各地にあるLANを接続して、地球規模のネットワークとしたものであります。

## ● Webとは

インターネットに接続されているコンピュータ上にある情報(ファイルという単位で置かれている)を利用しやすくするために、置き場所とファイル名とを指定して情報を取り出せるサービスがあります。

**Web**(蜘蛛の巣)とは、このサービスによりファイルとファイルとが論理的につながりあっている様子を蜘蛛の巣に例えて名付けたものです。

## ● Webによる情報発信

インターネット上で情報発信を行うためのコンピュータをWebサーバと呼び、Webサーバ上でさまざまなファイルを公開するための元になるファイルをWebページと呼びます。

Webページは固定的な内容を多くの人に見てもらうには有用ですが、**e-ビジネス**（インターネットを利用したビジネス）で顧客のニーズに応じた情報発信を行うには**プログラミング**が必要です。

# プログラミングとは

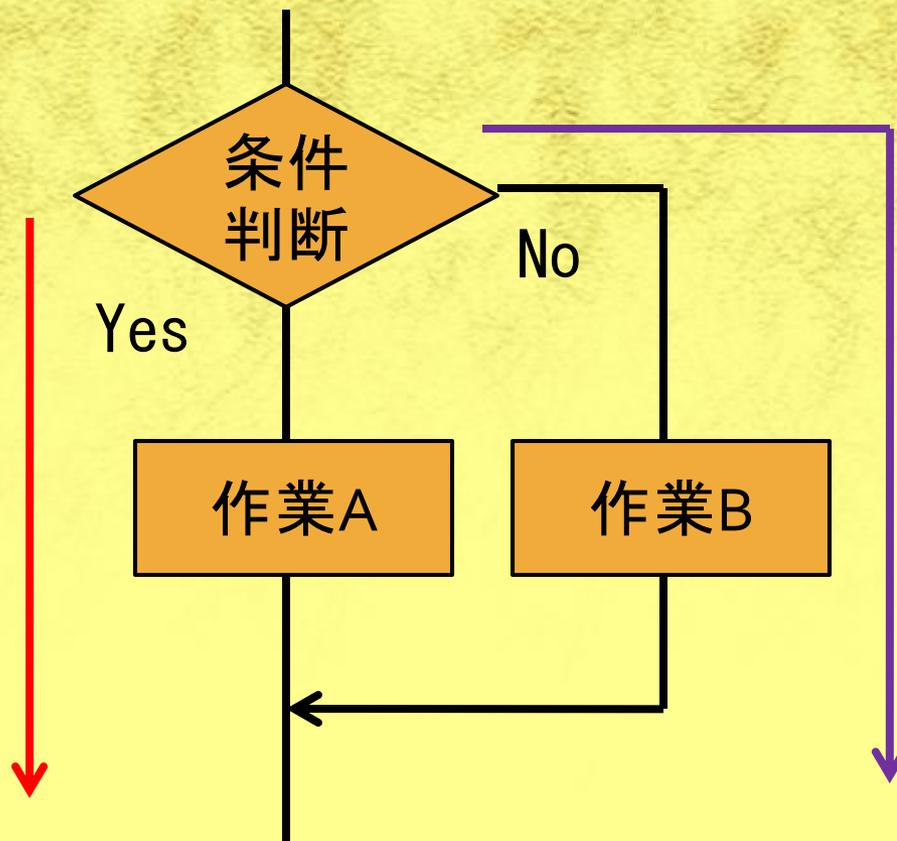
- 仕事の流れ

コンピュータに様々な仕事をさせるには、仕事の内容を分析して、その流れを設計する必要があります。この流れを人工的な言語で記述したものを**プログラム**と呼び、プログラムを作成することを**プログラミング**と呼びます。(プログラムを記述する言語は**プログラミング言語**)

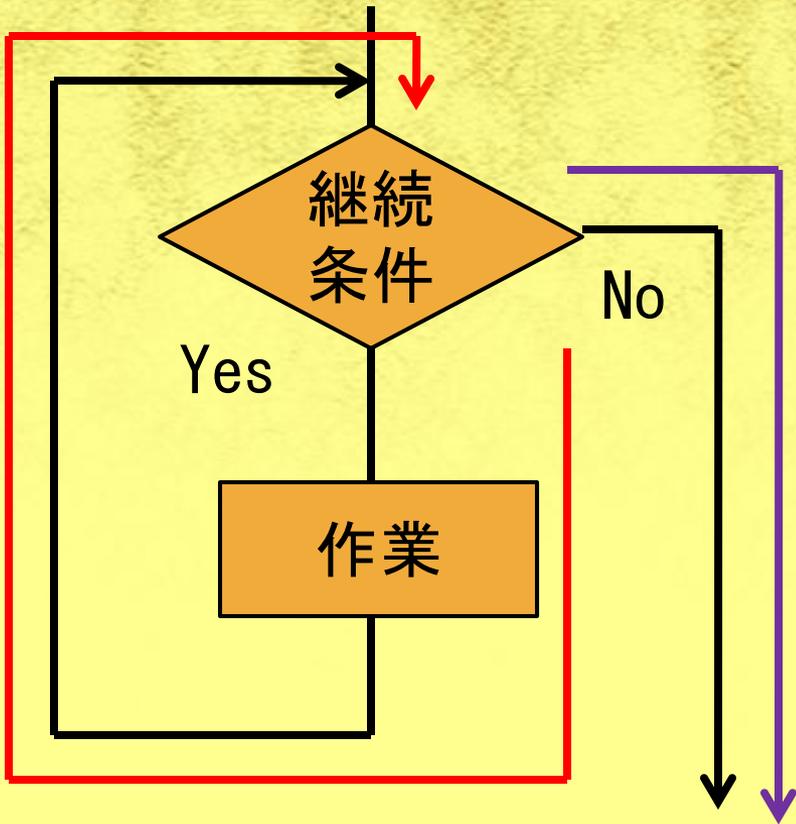
仕事の流れの典型的なパターンには、直線型、分岐型、繰り返し型の3種類があります。



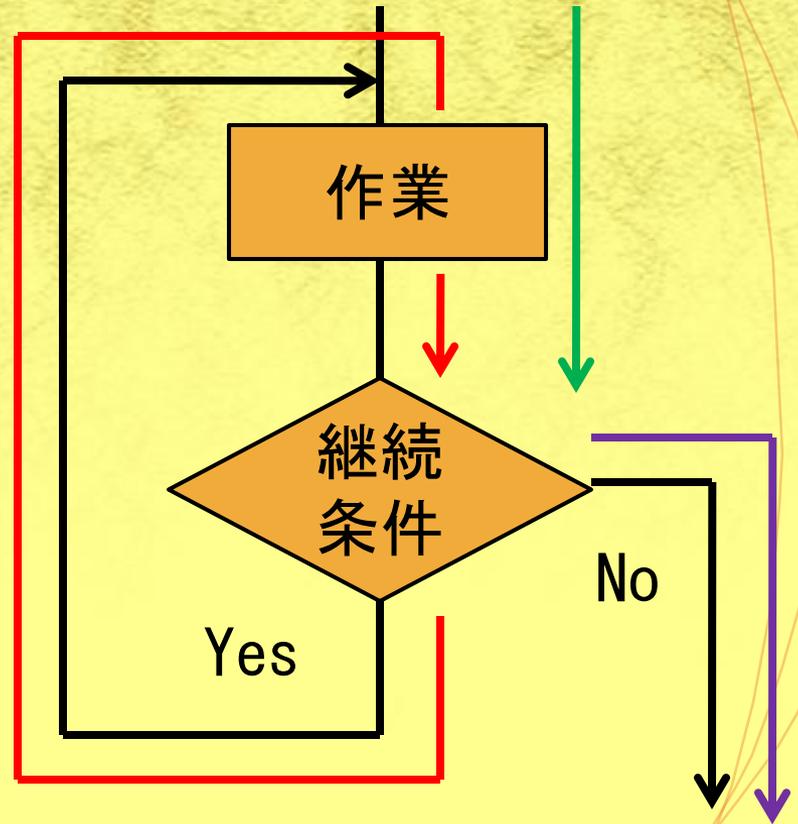
直線型



分岐型



繰り返し型  
(0回以上)



繰り返し型  
(1回以上)

## ● 場合分け

プログラムの基本は直線型ですが、顧客のニーズに合わせるような**場合分け**を行うには分岐型が必要になります。

多くのプログラミング言語では、この場合分けのためにif文というものが用意されています。

通常、e-ビジネス向けのプログラミング言語としてはPerlが利用されていますが、この講座では特別な用意のいらないWebページに埋め込んで利用できるJavaScriptを体験します。

# 実 習

- ログイン

Windowsの利用を開始するには、電源を入れて起動し終わった後、ユーザ名およびパスワードを入力する必要があります。

- ファイルのダウンロード

Webブラウザ (Webページ閲覧用ソフトウェア) で <http://www.cuc.ac.jp/~jimbo/> を開いて「教材」の箇所をクリックしましょう。そのWebページにある「ソースファイル(未完成版)」をマウス

の右ボタンでクリックし、「対象をファイルに保存」を選びます。保存先は「マイドキュメント」です。

## ● プログラミング

保存したファイルの名前は「Webprog.html」です。これをメモ帳で開いて、別紙のプリントと見比べて足りない部分を入力してみましょう。

出来上がったら、上書き保存をして Webブラウザで動作を確認しましょう。

# おわりに

- 自宅・高校で復習

今回は、Webページを作成するためのHTML文法やJavaScriptの文法については立ち入らず、条件判断による場合分けに絞って、プログラミングを体験してもらいました。

このテキストおよび別紙のプリントもファイルをダウンロードしたWebページの教材コーナーに置いておきますので、自宅や高校でこの講座の実習内容を再現してみましよう。